

2-4 企業・利用者のニーズ

2-4-1 アンケート調査・ヒアリング調査の実施

(1) アンケート調査

木更津港の背後地域及び今後開通が予定されている圏央道沿線地域の企業 335 社へアンケート調査を実施したところ 104 社から回答があり、そのうち 32 社が港湾を利用しており(木更津港は 11 社)、以下の意見がありました。なお、残りの 72 社は「利用なし」、又は「今後も利用の可能性がない」という結果でした。

木更津港を利用するための課題は、下記のとおり主に利用料金や新規航路の就航に関する意見でした。

【アンケート調査による主な意見】

- 入港料を周辺他港よりも安くする。(7 社)
- 保管、荷捌き施設の利用料を周辺他港よりも安くする。(6 社)
- 港湾内の用地を低料金で提供し、物流業者等の施設を誘致する。(5 社)
- コンテナ航路を就航させる。(4 社)
- 内航フェリー、RORO 船航路を就航させる。(4 社)

(2)ヒアリング調査

木更津港の地元関係団体や港湾利用者を対象に、木更津港の現状の課題や将来への要望についてヒアリングを実施しました。

主な意見を、「物流」、「観光・交流・アメニティ」、「環境」、「安全・安心」の4項目で整理すると、以下のとおりとなります。

【物流】

- 大型自動車運搬船が着岸できるようにしてほしい。
- バース利用の混雑により滞船が発生している。
- 中古自動車の保管ヤードが不足している。横浜港や川崎港、富津地区への横持ちが発生している。
- 砂利・砂貨物の取扱機能強化のため、港湾計画に位置付けている岸壁の整備が必要。
- 船舶の大型化に対応した岸壁の延伸や増深が必要。
- 貨物船と大型クルーズ船が2隻同時接岸できるようにしてほしい。
- 今後、圏央道等の道路網が充実し、木更津港の貨物の増加が期待できるので、その受け皿が必要。
- 水面貯木場を埋立て、港湾関連用地(物流関連ゾーン)として活用。
- 富津地区の SOLAS 区域を拡張してほしい。
- 富津地区の岸壁は-7.5m しかないので、大型船に係留できる岸壁があるとよい。

【観光・交流・アメニティ】

- パークバイプロジェクトと一体となった港の整備。
- 大型クルーズ船専用の岸壁があるとよい。
- クルーズ船が多く寄港するなど、工業港だけでなく、観光港としての面も取り入れてもらいたい。
- クルーズ船誘致には、地域の魅力を向上させた方がよい。
- 水面貯木場をマリーナとして活用。
- 大型プレジャーボートに係留できる岸壁があるとよい。
- 放置艇や不法係留船が多く、小型船を収容する施設の早期整備が必要。
- 富津みなと公園を活かしたにぎわいの促進。

【環境】

- 貴重な自然の干潟である盤洲干潟を保全していくべき。
- カーボンニュートラルに向けた取組を行っていく必要がある。
- 水面貯木場をカーボンニュートラルに資する用地として活用。

【安全・安心】

- 木更津南部地区の港湾計画に位置付けられている耐震強化岸壁が未整備のため、早期に整備されるとよい。
- 木更津南部地区小型船だまりを早期に整備してほしい。
- 木更津航路は狭く、貨物船とプレジャーボート等が輻輳すると危険である。
- 航路水深が浅くなっている箇所があり、適切な維持浚渫をお願いしたい。

2-4-2 地区別に対する要請事項の整理

(1) 吾妻地区・江川地区

前述のアンケート調査及びヒアリング調査を踏まえ、吾妻地区及び江川地区に対する要請事項について、以下のとおり整理しました。

表 2-4-1 吾妻地区及び江川地区に対する要請事項

項目	要請事項
観光・交流・アメニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・小型船収容施設の早期整備(吾妻地区) ・港を活かしたまちづくりとの連携による一体的なにぎわい空間の創出(吾妻地区) ・大型プレジャーボート受入れの検討(吾妻地区)
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾内に残された干潟や浅場等の貴重な自然環境の保全(江川地区) ・カーボンニュートラルへの対応(吾妻地区・江川地区)
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・航路の適切な維持浚渫(吾妻地区・江川地区) ・港内船舶の移転先の早期整備(吾妻地区)



図 2-4-1 吾妻地区・江川地区に対する要請

(2)木更津南部地区

前述のアンケート調査及びヒアリング調査を踏まえ、木更津南部地区に対する要請事項について、以下のとおり整理しました。

表 2-4-2 木更津南部地区に対する要請事項

項目	要請事項
物流	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶大型化に対応するための岸壁の延伸 ・クルーズ船と物流機能の両立 ・砂利・砂貨物の取扱拠点としての機能強化 ・中古自動車保管ヤードの不足への対応 ・水面貯木場を埋立て、物流関連用地(倉庫など)として利用
観光・交流・アメニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外大型クルーズ船の受入環境の強化 ・水面貯木場をマリーナとして活用 ・大型プレジャーボート受入れの検討
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・水面貯木場をカーボンニュートラルに資する用地として活用 ・カーボンニュートラルへの対応
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物船とプレジャーボートが輻輳すると危険 ・大規模災害時の木更津港の役割を踏まえた防災拠点機能の見直し ・小型船だまりの早期整備



図 2-4-2 木更津南部地区に対する要請

(3) 富津地区

前述のアンケート調査及びヒアリング調査を踏まえ、富津地区に対する要請事項について、以下のとおり整理しました。

表 2-4-3 富津地区に対する要請事項

項目	要請事項
物流	<ul style="list-style-type: none"> ・大型船が接岸できる大水深岸壁の整備 ・富津地区の SOLAS 区域を拡張
観光・交流・アメニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・富津みなと公園を活かしたにぎわいの促進 ・小型船収容施設の早期整備 ・大型プレジャーボート受入れの検討
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルへの対応
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時の木更津港の役割を踏まえた防災拠点機能の見直し



図 2-4-3 富津地区に対する要請